

「歌でつづる音楽の歴史II」を開催しました

文学部英米文化学科では、2017年度の前期と後期の2回にわたり、「連続講義：表現を通して知る英米文化」を開催します。その第1回の講義として、去る6月26日、本学講堂において、歌とピアノのコンサート「歌でつづる音楽の歴史II」が開催されました。昨年好評裏に開かれたコンサートに引き続き、今年も、ともに高崎市ご出身であるソプラノ歌手の永井美加様とピアニストの近藤陽子様をお招きし、英国や米国にゆかりの楽曲をご披露いただきました。

第一部はヘンデルの「オンブラ・マイ・フ」などの楽曲や、ドニゼッティのオペラ・アリア、プッチーニのオペラ『蝶々夫人』からのアリア「かわいい坊や」など、伝統的な作品を中心にご披露いただきました。オペラ『蝶々夫人』では、最愛の息子との別れを前に自刃する蝶々さんの迫真の歌と演技に、一同、息をのんで見入りました。第二部は、ミュージカル『オペラ座の怪人』『サウンド・オブ・ミュージック』『マイ・フェア・レディ』から、永井様の深みのある歌声と近藤様の響き渡るピアノ・ソロで、英米で発展した

ミュージカルの楽曲を堪能しました。『オペラ座の怪人』では、ピアノ伴奏の近藤様が怪人の仮面をつけて登場され、永井様の歌姫が歌い始めると、皆、驚きのあまり、声も失ってしまいました。

演奏の合間には、永井様や近藤様による曲の解説や、藤村による解説も加え、「一味違った」コンサートになったようです。学生や地域の皆様合わせて120人余りの参加を得、英国から米国へと約1時間半の音楽の旅を楽しみました。

群馬県立女子大学には、ご寄贈いただいたスタインウェイのコンサート・グランド・ピアノがあります。ピアノも出番を頂戴して喜んでいました。当日、お越しいただいた皆様、ありがとうございました。またいつか、このような機会を設けて、皆様に素晴らしい音楽をお届けできれば幸いに存じます。



住民自治のまちづくり

経営企画課
☎64-7711

平成29年度協働によるまちづくり提案事業をご紹介します

玉村制服リユースバンク

《目的》 玉村町の中学校を卒業する際に使われなくなった制服などをリユースし、制服などの購入が困難な家庭に提供することで、生徒が家庭の経済的格差に関係なく学生生活を送れるように支援する。

《内容》 ○制服などの回収・保管・クリーニング ○制服などの引き渡し



ガイドたまむらの会

《目的》 ガイドメンバーが、玉村町の歴史・文化・史跡などに関するガイドである「まちの案内人」としての素養を習得し、ガイド実践などを通じて心のこもったおもてなしを行うことにより、玉村町の魅力を発信し、町外および町内住民との交流を活発にする。

《内容》 ガイドの実践など



玉村町の魅力見つけ隊!

《目的》 玉村町の魅力をPRする動画を作成し、町民、学生、町外に向けてWEBやSNSを通じて発信し、町の活性化につなげる。

《内容》 大学生による町PR動画の作成・配信

